

◎ 伊達市へのアクセス



◎ 伊達市概要



市章の由来

伊達の歴史・伝統を象徴する、弦月と兜をモチーフとしたデザインです。シンプルな円形は旧5町の調和と発展を意味し、「伊達織りなす未来ひとつの心」の将来像のもと、和をもって協力し合う人々の姿を表現しています。

(平成18年3月16日制定)

伊達市のシンボル



市の花『もも』



市の木『あかまつ』



市の鳥『せきれい』

市の花は、本市の代表的な特産品である桃の花。木は、未永い繁栄や長寿を象徴する「あかまつ」。鳥は、伊達政宗にゆかりがあり子孫繁栄の鳥でもある「せきれい」です。



Webサイト



公式
Facebook



公式
YouTube



公式
Twitter



公式
LINE



公式
Instagram

福島県伊達市 市勢要覧

発行：伊達市 令和5年3月31日

〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地

【電話番号】024-575-1111 【FAX番号】024-575-2570

<https://www.city.fukushima-date.lg.jp>

福島県
伊達市
市勢要覧

幸せがじゅずつなぎになるまち伊達



さらに魅力あふれるまちへと 成長を続ける伊達市へ

市長あいさつ

福島県中通りの北部に位置する伊達市は、東に国の史跡・名勝に指定されている名峰「霊山」、西に雄大な吾妻の峰々を日々仰ぎ見る自然に恵まれ、特産の干し柿「あんぽ柿」や桃をはじめとするおいしい果物、きゅうりなどの野菜の生産が盛んで全国でも有数の産地です。また歴史を紐解きますと、戦国大名伊達氏発祥の地であるとともに、南北朝時代の武将・北畠顕家が霊山に国府を開くなどの歴史をもったまちです。

平成18年1月に伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月舘町が合併して誕生した本市は、まちづくりの設計図である総合計画に掲げた将来都市像「人と緑と歴史が結び合う ひかり輝く田園空間・伊達市」の実現に向け、市民参画を基本に、人と人とのつながりや歴史・文化・産業・自然が織りなす多彩な地域資源を大切に磨き上げ、若者をはじめとするあらゆる世代が住んでみたい、住んでよかったと思える魅力あるまちづくりを進めております。

東北中央自動車道が開通したことに加え、新工業団地の操業開始や大型商業施設の開業により、人・モノの流れが大きく加速することが期待されています。さらに魅力あふれるまちへと成長を続ける伊達市に、ぜひ皆さまお越しください。

伊達市長 須田 博行

CONTENTS

ふるさとの山「霊山」	4
伊達のブランド	6
伊達のお祭り	8
歴史あふれる伊達の里	10
伊達市はスポーツ三昧！	12
安全・安心できれいなまち	14
健やかでやさしい健康・福祉のまち	16
未来を拓く人を育む教育・文化のまち	18
活力とにぎわいあふれる産業のまち	20
便利で快適に暮らせるまち	22
伊達に移住・定住	23
みんなでつくる協働のまち	24
数字で見る伊達市	26
伊達の歳時記	28
都市間交流／伊達市議会	29
伊達市概要／アクセス	30
伊達ふるさとMAP	31

伊達市ブランドメッセージロゴマークとは？

伊達市ブランドメッセージ「#幸せがじゅずつなぎになるまち 伊達」は、市民ワークショップにて考案された3つの候補の中から、総選挙で選ばれた市の魅力を伝える伊達市らしいメッセージです。

ブランドメッセージは、伊達市に関わる人が親しみや誇りを感じ、魅力を市内外に発信していくためのキャッチコピーです。このブランドメッセージを効果的に発信していくための、ロゴマークです。



#**幸せ**が
じゅずつなぎに
なるまち**伊達**

ロゴマークに込められた意味

- 伊達・梁川・保原・霊山・月舘の5つの地域の人たちがじゅずつなぎになっている姿は、地域の輪を示しています。
- 地域の輪の中には、伊達市の大切にしたい魅力をデザインしました。市民のやさしさを、柔らかな風合いのイラストで表現しています。
- 5つの人型の色は、伊達市自慢のきゅうり、いちご、もも、あんぽ柿と、市章の5つの要素を表しています。

冊子の中にあるQRコードを読み取ると、伊達市公式YouTubeチャンネルにて関連映像がご覧いただけます。

それぞれの色で
ひかり輝くまち

伊達市長
すだ ひろゆき
須田 博行



登れば登るほど好きになる ふるさとの山“りょうぜん霊山”

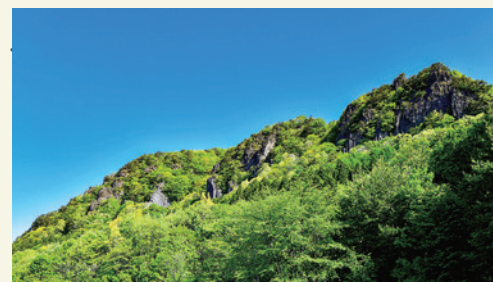
霊山は伊達市のシンボリック存在で、標高 825 メートルの秀峰は四季折々の美しい表情を見せてくれます。山頂の東物見岩からは太平洋を望むことができ、四季を通じて登山客が訪れます。10 月下旬から 11 月初旬に最盛期を迎える紅葉シーズンには「霊山紅葉まつり」が催されます。奇岩と色とりどりの鮮やかな紅葉は絶景です。

Mt. Ryozen, a local mountain that grows on you the more you climb it

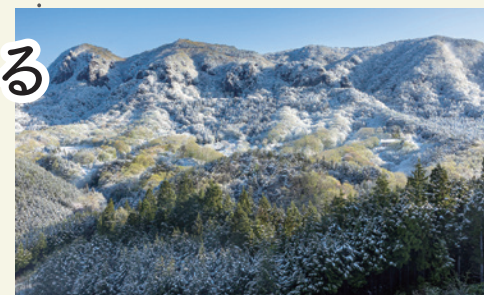
Mt. Ryozen is a symbol of Date City, and its 825-meter-high peak offers beautiful views of the surrounding landscape each season. Hikers visit year-round to enjoy the view of the Pacific Ocean from the Higashi Monomi-Iwa, a large rock at the summit. The Ryozen Autumn Festival is held at the height of the autumn foliage season from late October to early November. The magnificent rocks are a spectacular sight amid vivid autumn colors.



霊山の四季フォトコンテスト 2022 受賞作品



四季を通して楽しめる



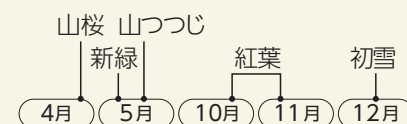
霊山の四季フォトコンテスト 2022 受賞作品



登りやすいコース

初心者でも登りやすいトレッキングコースが整備されているので安心して歩けます。

季節の見頃



アクセスがよい

東北中央自動車道が東北自動車道とつながり、霊山登山口までスムーズなアクセスに！

歴史ある 修験道の山

平安初期（859 年）、慈覚大師により開山され、南北朝期には、南朝の忠臣北畠顕家が義良親王（後の後村上天皇）を奉じて陸奥の国府を開いたことは歴史上有名です。しかし、1347 年北朝との激しい戦いの末、落城。以来、六百数十年を経た今日、霊山城跡および霊山寺跡は学術的な調査の手も加えられないまま深く埋もれています。



県立自然公園

霊山

RYOZEN

が

オススメの理由

標高：825m

山開き：4 月 29 日

体力：初心者向け

アクセス（車）

東北中央自動車道霊山飯舘 I.C.より車で約 5 分

駐車場：約 100 台

年間登山者数：6 万～7 万人



奇岩が多い！

山全体が火山岩によって形成されている霊山には、この地ならではの大きな奇岩があちこちに点在。恐る恐るハシゴで登った岩場の先には、スリリングな絶景が満載です。



麓も楽しい

遊びと学びのミュージアムやアスレチック、キャンプなどが楽しめる霊山こどもの村や、宿泊や食事、入浴ができるりょうぜん紅彩館があります。



霊山道先案内人に ガイドが頼める

季節のオススメはもちろん、霊山の歴史や霊山周辺の歴史まで幅広くガイドしてくれるので、たっぷり霊山が楽しめます。



伊達市の
シンボル霊山
私の大好きな山

霊山道先案内人会 会長

もりとう
森藤 いつ子さん



大地の恵みがつまった 伊達のブランド

寒暖の差が大きい気候と肥沃な大地から、桃、ぶどう、柿、いちごなどの果実類やきゅうりなどの野菜類など、伊達ならではの新鮮で旬な食材が栽培されています。

市の代表的な特産品として全国に知られる「伊達の桃」は、光センサーによって糖度や大きさ、色の付き具合で選果されます。7月初旬から10月下旬までさまざまな品種が出荷され、ふるさと納税でも人気を博しています。

Date brands that embody the richness of the land

Thanks to fertile soils and a climate that varies dramatically in temperature over the year, Date produces fresh and seasonal foods unique to the area, including fruits such as peaches, grapes, persimmons, and strawberries, as well as vegetables such as cucumbers.

Date's peaches, known nationwide as the city's signature product, are graded based on sugar content, size, color, and other factors using optical sensors. Various local specialties are shipped out from early July to late October, and are popular among Furusato Nozei (hometown tax) donors.



桃生産農家
せきね かつとみ
関根 勝富さん



あんぽ柿

あんぽ柿は、自然豊かな気候風土と伝統の技が生み出す伊達の冬の味覚です。鮮やかなオレンジ色の果肉とトロツとした食感が特長で、市の代表的な特産品として全国的に知られています。2023年にはGI（地理的表示保護制度）に認証登録され、ブランドのさらなる発展が期待されます。



伊達鶏



独自の飼育法、飼料、飼育日数で大切に育て、肉のこくとうまみを引き出しました。シャモやカシワよりも柔らかく、ブロイラーよりも歯ごたえがあり、独特の食感が特長の伊達市のブランド鶏です。



きゅうり

4月から11月までの長期間出荷されており、中でも夏秋きゅうりは全国1位の生産量を誇ります。



いちご



クリスマスシーズンから6月まで出荷され、福島県内1位の生産量を誇ります。「とちおとめ」をはじめ、たくさんの品種が栽培されていて、2022年に登場した福島県オリジナルの新品種「ゆうやけベリー」の栽培にも力を入れています。

こだわりのつまった伊達の

特産

TOKUSAN

は

本当にすばらしい



6次化商品

あんぽ柿や伊達の果物を生かした6次化商品が次々に誕生しています。

ニット

江戸から明治にかけて養蚕業で栄え、戦後はニット産業が中心となって栄えました。良質なニット製品は伊達市の特産で、毎年春と秋に行われるニットフェアには大勢の買い物客が訪れます。



inoDATE

イノシシを少しでも地域振興に役立てようとイノシシの「皮」を「革」へ変え、製品作りをしています。



伊達のお祭り

伝統を受け継ぐ
霊山太鼓まつり 毎年8月開催



伊達には地域に伝わる伝統を継承するまつりや、市民の力で地域を盛り上げる新しいまつりがたくさんあります。

このうち霊山太鼓まつりは、町内各地の太鼓保存会が参加します。短く太い桐のバチを高々と上げ、350年以上の歴史がある霊山太鼓を勇壮に響かせます。全保存会が一斉に打ち鳴らす「同時打ち」は迫力満点。会場の熱気が最高潮に達します。

Keeping tradition alive at the Ryozen Taiko Festival

Date is home to many festivals that continue local traditions, as well as new festivals that invigorate the community through the involvement of local residents.

One such event is the Ryozen Taiko Festival, in which taiko drum preservation groups from all across the city take part. Raising their short, thick paulownia *bachi* (drumsticks) high into the air, drummers heroically beat Ryozen taiko drums, which have been around for over 350 years. All the preservation groups then join together to put on a simultaneous drumming performance, overwhelming the audience with sheer power. The energy of the festival builds and reaches its peak.



霊山太鼓遠征組
 やしま まさる
八島 勝さん



太鼓が大好き

◎ 伊達市伝統の祭 ◎

つつこ引き祭り (3月第1日曜日開催)
 (市指定無形民俗文化財・県10大奇祭)
 五穀豊穡や家内安全を願い行われる保原地域の「つつこ引き祭り」は、下帯姿の若衆が3組に分かれて大つつこを引き合う勇壮な祭りです。



つつこ引き祭り (保原地域)

霊山神社春季例大祭 瀬鯨武楽
 (4月29日開催) (市指定無形民俗文化財)
 北畠頭家が国府を開くため、多賀城から霊山城に入城した際、地元民が頭家の武運長久を祈って奉納したといわれる剣舞で、霊山神社春季例大祭で奉納されます。



瀬鯨武楽 (霊山地域)

愛宕神社例大祭 箱崎の獅子舞
 (4月29・30日開催)
 (県指定重要無形民俗文化財)
 愛宕神社の境内で「弓の舞」や「うたぎりの舞」など多彩な舞を披露し、五穀豊穡、鎮火防火、家内安全を祈願します。



箱崎の獅子舞 (伊達地域)

長岡天王祭 (7月24～25日開催)
 熱田神社と八雲神社のご神体を1つに合わせることから「嫁入り祭」とも呼ばれ、県10大祭礼にも選出されています。日中に各地区を練り歩いた山車が、夕暮れ時に天王通り商店街に一斉に集まり、笛や太鼓の競演をします。



長岡天王祭 (伊達地域)

伊達の
祭り
 MATSURI
 は
 熱い!



伊達のふる里夏まつり (梁川地域)

地域の夏を盛り上げます
伊達の夏祭り

伊達市の夏は熱い! 各地域ごとに、花火大会や露店、大盆踊りなど沢山開催されます。
 (毎年8月開催)

まちのクラフト作家が大集合
**モノ作りびと
 フェア** (毎年5月下旬開催)

全国から多彩なジャンルのクラフト作家が集まり、自慢の作品が展示販売されます。



モノ作りびとフェア (月舘地域)



小手姫の里夏まつり (月舘地域)



ほばらサマーフェスティバル (保原地域)

道の駅伊達の郷りょうぜん
 夏祭り (霊山地域)



歴史あふれる 伊達の里

1189（文治5）年、奥州合戦で戦功をあげた常陸国の中村氏は、恩賞として源頼朝から伊達郡を与えられ、姓を伊達氏に改めました。初代朝宗が高子岡に館を構えて以降、400年にわたり伊達を本拠地としました。

鎌倉期には伊達地方の各地に一族が根を下ろします。室町時代には伊達氏の勢力拡大とともに、歴代の当主が京に度々上洛し、室町幕府との密接な関係を築きました。伊達氏の本拠があった梁川城周辺には、梁川八幡神社、輪王寺、東昌寺など、伊達氏ゆかりの寺社が建立され、南奥州の拠点として栄えました。

2019年には「伊達氏梁川遺跡群」として伊達氏館跡（梁川城跡）などが国史跡に指定され、2022年に「梁庭遺跡」「岩地蔵遺跡」が追加指定されました。東北地方における中世国家の成り立ちを探ることに、重要な役割を示しています。

Date, a village steeped in history

In 1189, Minamoto no Yoritomo awarded the district of Date to the Nakamura clan of Hitachi Province (part of present-day Ibaraki Prefecture) for their success in the Battle of Oshu, and the clan changed their name to Date. Tomomune, the founder of the Date clan, built a large residence in Takakogaoka, and the clan was based in Date for the next 400 years.

During the Kamakura period (1185–1333), the clan established roots in various parts of the Date region. Then, as the Date clan's power expanded during the Muromachi period (1336–1573), successive heads of the clan frequently traveled to Kyoto to develop close ties with the Muromachi shogunate. In the vicinity of Yanagawa Castle, where the clan was based, temples and shrines associated with the Date clan were erected, including the Yanagawa Hachiman Shrine, Rinnoji Temple, and Toshoji Temple, and the area prospered as a hub for the southern Oshu region.

In 2019, the "Date Clan Yanagawa Ruins," which includes the site of the Date clan's residence (Yanagawa Castle Site), was designated a national historic site. The Doniwa Ruins and Iwajizo Ruins were added to the designation in 2022. These sites play a key role in research into the formation of medieval Japanese states in the Tohoku region.

伊達市は歴史も
おもしろい！

梁川八幡神社 氏子総代
亀岡 整さん



政宗が戦勝祈願した 梁川八幡神社

1189（文治5）年以降、伊達郡を拝領した伊達氏の氏神として鎌倉の鶴岡八幡宮の分霊を迎えて祀ったのが亀岡八幡宮です。伊達氏の居城が梁川に移った際に高子岡に建立していたものと合祀され、現在の位置に建立されました。独眼竜として知られる伊達政宗も戦勝祈願のために訪れています。また、田村氏（現福島県三春町）から正室の愛姫を迎え入れたのも当地であると伝えられています。

2022年に国指定史跡に追加された梁庭遺跡は、八幡神社の社殿を囲むように区画溝が見つかっていて、鎌倉期から現在まで社殿の位置が変わらずられていたことが分かっています。

伊達氏発祥の地 高子岡館跡



初代朝宗が築いたとされる、伊達氏初の城館跡。山頂には、鎮護の神として亀岡八幡宮を祀ったといわれ、現在も白い鳥居をくぐった先に八幡神社が鎮座しています。神社の奥には高子二十境の丹露盤があり、伊達市内を一望することができます。



出土した貴重な陶器の数々



霊山の麓にある宮脇廃寺跡

伊達氏梁川遺跡群 岩地蔵遺跡

広瀬川崖面に築かれた摩崖仏群で、中世伊達氏の館となる梁川城址を中心に築かれた都市の南端に位置しています。



中世奥羽の中心地 梁川城跡

鎌倉時代の築城と伝えられます。伊達氏11代持宗から14代植宗までの間、本拠として本格的に整備され、植宗が陸奥国守護に補任されるに至り、奥州の政治的中枢の位置を占めました。東北の中世の城郭内に庭園が現存する例は少なく、極めて貴重といわれています。

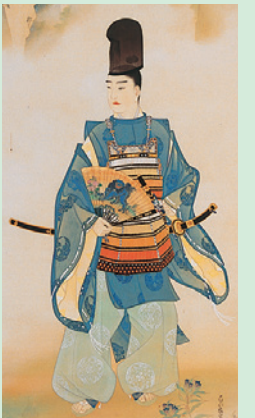


国司館跡

霊山の麓に北畠一族を祀る 霊山神社



1881（明治14）年に、南朝の忠臣北畠親房、顕家、顕信、守親を祀るために造営されました。春と秋に例大祭が行われており、大勢の観光客が訪れます。霊山の二ツ岩から出土した中国（元代）龍泉窯で焼かれた青磁花盆、青磁皿（県重要文化財）など貴重な文化財が、社宝として保存されています。



北畠顕家像（霊山神社所蔵）

伊達氏と足利將軍との結び付きを示す 宮脇廃寺跡

9代政宗あるいは10代氏宗が霊山寺を再建した跡とみられています。9代政宗夫人は足利義満の生母の妹、10代氏宗は義満の従兄弟にあたるなど伊達氏と足利將軍家のつながりは深く、出土した瓦には將軍家ゆかりの菊花文がデザインされています。また北山文化の影響で、建物の前面には影石を置いた風流な池があったとみられています。2014年、国の史跡に指定されました。

伊達市はスポーツ三昧！

総合型地域スポーツクラブ「fun スポ伊達」

市民誰もが「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツに親しめるよう、2022年に総合型地域スポーツクラブ「fun スポ伊達」が発足しました。「fun スポ伊達」の愛称は、伊達市内の小学生が考えたもの。「たくさんの人にスポーツを楽しんでほしい」との思いが込められています。小中学生を対象に「サッカー教室」「ダンス教室」「キッズスポーツ（親子運動遊び）教室」などが開講され、多くの子どもたちがスポーツに取り組んでいます。fun スポ伊達は今後、種目や対象年齢を順次広げていく予定です。

また、伊達市には運動施設が多く、さまざまなスポーツを楽しめる環境が整っています。

Comprehensive Community Sports Club "Fun-Spo Date"
In 2022, the Comprehensive Community Sports Club "Fun-Spo Date" was established to enable city residents to engage in sports "anytime, anywhere, for as long as they want." The nickname "Fun-Spo(rts) Date" was conceived by an elementary school student in Date City, with the hope that many people would have fun playing sports. The sports club offers lessons in soccer, dance, and kids' sports (parent-child exercise play) for elementary and junior high school students, allowing many children to participate in sports activities. Going forward, Fun-Spo Date plans to gradually expand the types of activities available to participants of more ages. In addition, Date City has many athletic facilities, providing an ideal environment for people to enjoy a variety of sports.

伊達市スポーツ振興公社
すずき きよふみ
鈴木 淳文さん



伊達市は
スポーツも
盛んです！



保原総合公園

保原総合公園には、2020年にパークゴルフ場、2022年にフットボール場が相次いでオープンしました。野球場やテニスコート、グラウンドとともに種々のスポーツが楽しめる施設になりました。また、最大56人が泊まれる簡易宿泊所「とまっぺ」が併設されているため、団体の合宿などにも最適な環境です。



簡易宿泊所「とまっぺ」



パークゴルフ場

4コース36ホール、総打数132、距離1,524m。クラブハウスや駐車場が併設され、連日多くのプレーヤーでにぎわっています。



野球場

観覧ベンチは第18回オリンピック東京大会（1964）の開会式の会場であった国立競技場から移設されたものです。



フットボール場

サッカー、ラグビー兼用人工芝コート1面。

伊達ももの里マラソン大会

開催60回を超える伊達市名物のイベントで、8月下旬～9月上旬に開催されています。ペース配分がしやすい比較的平坦なコースで、市街地、住宅街、のどかな田園、果樹畑など景色の変化にも富んでいます。独自のコスチュームをまとった選手や、地元の人たちによる沿道での太鼓演奏が、マラソン大会を一層盛り上げます。

Date Momo no Sato Marathon

Held from late August to early September, the Momo no Sato Marathon is a staple event in Date City that has been held more than 60 times. The course is relatively flat and easy to pace, covering a wide range of scenery from urban and residential areas to peaceful rice fields and fruit orchards. Runners donning unique costumes and taiko drum performances by locals along the course add to the excitement of the marathon.



その他のスポーツ施設紹介



伊達市保原プール
東日本大震災後、屋外での運動不足による子どもの体力低下の改善、高齢者の健康維持のためにつくられました。



伊達市保原体育館

スポーツだけではなく、音楽祭などの文化事業でも利用できるよう、空調設備の整備や通路のバリアフリー化を図っています。



安全・安心できれいなまち



伊達市消防団秋季検閲

安心してらせるまちづくり

「自らの地域は自らが守る」という消防団の精神に基づき、1,100 人を超える消防団員が地域の安全を支えています。市独自で消防操法大会を行い消防技術の向上に努めているほか、防災訓練や出前講座などを通して、災害時の危機管理や「自助」「共助」の大切さを伝え、市民の防災意識・知識の向上を図っています。

また、児童たちの安全な登校のため、交通教育専門員や地域の人々が毎朝通学路に立って児童たちを見守ります。

Building a community where people can feel safe

Over 1,100 people support the safety of the Date community as members of the local volunteer fire brigade, whose motto is to "protect our own community by ourselves." The city holds its own firefighting skills competition to improve firefighting techniques, and strives to raise residents' level of disaster prevention awareness and knowledge by teaching about crisis management and the importance of "self-help" and "mutual aid" during disasters through disaster drills and lectures.

In addition, traffic education specialists and community members stand watch along school commuting routes to ensure that children get to school safely each morning.

伊達市消防団

ほんだ なおと
本田 修音さん



安心して
暮らせるまちを
つくります

排水ポンプ車

2022 年 3 月に、毎分 30 トン排水できる排水ポンプ車を 2 台配備しました。市職員や伊達市建設業協会会員等により、操作方法や排水手順などを確認する訓練を行っています。



配備された排水ポンプ車



排水ポンプ車訓練

水防訓練

大雨による浸水災害などに備え消防団（水防団）による、救命ボートを用いた水難救助訓練が行われました。手漕ぎでの操舵や要救助者救出の方法などを学んでいます。



サケの放流

広瀬川の環境保護のため、市内の小学生が広瀬川にサケの稚魚を放流しています。「広瀬川に鮭をもどす会」が 1996 年から続けてきた活動で、環境の大切さを学ぶ機会になっています。



草刈り作業



通学の交通安全を守る交通教育専門員

健やかでやさしい健康・福祉のまち



元気づくり会でのウォーキング

健幸都市の実現

市民一人ひとりが健康かつ生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができる「健幸都市 伊達市」を実現するために、“幸せの源は健康であり、健康の基本は歩くこと”として、歩くことを基本とした各種事業を推進しています。

また、疾病予防・重症化予防に向けたきめ細やかな保健サービスの提供や、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護・福祉サービスの充実や社会参加・生きがいづくりを進めています。

Becoming a Smart Wellness City

In order to become "Smart Wellness City: Date City," a place where every resident can lead a safe, secure, and enriching life in good health and with a sense of purpose, Date City is promoting various programs centered on walking, based on the belief that "health is the source of happiness, and walking is the foundation of health." The city also provides attentive health services aimed at preventing diseases and serious illnesses and promotes the enhancement of nursing care and welfare services, community engagement, and life fulfillment so that senior citizens and people with disabilities can continue to live with peace of mind in familiar neighborhoods.

掛田中央内科
介護予防センター掛田 所長
(健康運動指導士)
わたなべ はやと
渡邊 隼人さん



健幸クラブ Fine

市内5カ所で実施している健康運動事業で、目的や運動タイプの違う教室を実施しています。主にマシンを使用した筋トレや有酸素運動ができ、すべての教室に運動指導員を配置しています。

Smart Wellness Club "Fine"

"Fine" is a health and exercise program conducted at five locations in the city, with classes for different purposes and exercise types. The classes focus primarily on weight training and aerobic exercise using gym machines, and all classes are staffed by exercise instructors.



元気づくり会

身近な集会所などで週に2回運動する「元気づくり会」は、町内会が中心となって100カ所以上で実施しています。運動習慣化の支援や地域交流の場としても広く親しまれています。

Wellbeing Club

The Wellbeing Club meets twice a week in neighborhood halls, among other locations. Exercise classes are organized mainly by resident associations and held at over 100 venues. A range of residents participate to help improve their exercise habits and interact with other people in the community.



だてな健幸ポイント事業

市民の皆さんが運動や健康づくりを行うきっかけや継続ができるように応援し、“歩くこと”を推進するための事業です。毎日の歩数や健康づくりでポイントを貯めると、さまざまな特典が受けられます。



Date Smart Wellness Point Program

This program is designed to promote walking by creating opportunities for city residents to exercise and stay fit and form healthy habits. Participants can earn points for their daily steps and health activities, which can be redeemed for a variety of benefits.

弥平ふるさと館

旧白根小学校を改築し、3階に運動・健康づくり施設が設けられました。バドミントンや卓球、ボルダリング、エアロバイクなどができるほか、ニュースポーツ用具があり、世代を超えて楽しむことができます。



ウエルネスサロン白根弥平ふるさと館



民生委員・児童委員の活動

伊達市には厚生労働省から委嘱を受けた民生委員・児童委員が175人います。市民の皆さんが安心して暮らせるよう、さまざまな相談に応じ、必要な支援が受けられるよう専門機関につなぐなどの活動を行っています。



生活習慣病予防活動 (栄養指導)

健診を受けた後、保健師や栄養士が保健指導を行っています。一人一人が身体のことを知り、健康でいられるよう支援します。



手話でコミュニケーション

2018年4月に伊達市手話言語条例を施行しました。ろう者が手話でコミュニケーションをとることができ、安心して日常生活を送れる環境を整えるため、手話の出前講座や手話通訳者の派遣などを行っています。



こども園での出前講座

伊達市は
健康づくりに
積極的な町

未来を拓く人を育む教育・文化のまち



生きる力を育む学校教育の充実

子どもたちが、未来を拓く人材として心身ともに健やかに成長できるように知・徳・体をバランスよく育てています。

各学校では、確かな学力を育むために、これまでの学び合いに加え、大型提示装置やタブレット端末などのICTを活用した学習を取り入れて授業の充実を推進しています。また、ロボットを活用したプログラミング教育を行っています。さらに、職場体験やボランティア体験、通学合宿体験、立志式などの五感を通して学ぶ体験活動を推進しています。

Enhancing school education to foster a zest for life

Schools in Date City provide a well-balanced education that nurtures children's mind, body, and character so that they can grow up physically and mentally healthy to become leaders of the future. In order to foster solid academic skills, each school promotes class enrichment through ICT-based learning, such as digital screens or projectors and tablets, alongside conventional teaching methods. Schools also provide programming education that utilizes robots. Schools further promote hands-on activities that enable students to learn through the five senses, such as internships, volunteer experiences, school camps, and coming-of-age ceremonies.

子どもの未来を育む
教育で元気と笑顔に
あふれています

月舘学園小学校・中学校 校長
さとう じんいち
佐藤 仁一さん



切れ目のない子育て支援

伊達市は「伊達市版ネウボラ事業」(ネウボラはフィンランド語で「アドバイスの場」の意味)に取り組んでいます。親子を担当するネウボラ保健師を中心に「寄り添う支援」に心がけ、母子保健と子育て支援の連携により、妊娠期から就学前までの子育てを切れ目なくサポートしています。認定こども園の整備や放課後児童クラブの充実など、安心して子育てができる環境を整えています。

Seamless childcare support

Date City has been implementing its own version of the Finnish neuvola system (neuvola means "place of advice" in Finnish). This system strives to offer personalized support centered on neuvola public health nurses, who are assigned to each mother and child, linking maternal and child healthcare with childcare support to provide seamless support from pregnancy to pre-school childcare. The city is creating a safe environment for raising children by establishing kodomoen (certified children center) and afterschool programs, among other measures.



育児パッケージ

妊婦さんへの訪問時に、伊達市からのお祝いとして子育てに役立つ「育児パッケージ」をプレゼントしています。第3子以降の誕生の際には、お祝い金をお贈りしています。



月舘学園「ICT教育」



© MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi
ロボットを使ったプログラミング学習



月舘学園「稲刈り」

屋内子ども遊び場

市内には「ファミリーパークだて」「スマイルパークほばら」「パレオパークやながわ」「ちびっこ広場」の4つの屋内遊び場があり、どんな天候でも思いっきり体を動かすことができます。



屋内子ども遊び場「パレオパーク」

充実した文化施設紹介



やなピア



伊達市立図書館



旧亀岡家住宅



伊達市梁川美術館

活力とにぎわいあふれる産業のまち



伊達市の魅力発信拠点 「道の駅 伊達の郷りょうぜん」

伊達市は農業をはじめとして、産業が元気なまちです。2018年3月にオープンした「道の駅 伊達の郷りょうぜん」には、伊達市内で生産された新鮮な農産物や特産品が集まり、年間130万人を超える人が訪れる伊達市で一番の観光交流拠点になっています。レストラン「だて食庵」には、地元の新鮮な野菜や特産の伊達鶏を使用したメニューが並び、食べ物を通して伊達市の魅力を発信しています。

Michi-no-Eki Date-no-Sato Ryozen: A gateway to Date City's attractions
Date City is home to thriving industries, particularly in the agricultural sector. Michi-no-Eki (roadside station) Date-no-Sato Ryozen, which opened in March 2018, is Date City's top tourist exchange center, attracting over 1.3 million visitors annually with a collection of fresh produce and specialty products produced in the city. Date Shoku-an, a restaurant at the station, conveys the appeal of Date City through its food by serving dishes that feature fresh local vegetables and Date-brand chicken (a local specialty).

伊達市は
産業も元気です!!

道の駅 伊達の郷りょうぜん 駅長
みうらしんや
三浦 真也さん



桃の収穫



あんぽ柿の検品

新工業団地を造成

2021年に福島と相馬を結ぶ東北中央自動車道（相馬福島道路）が全面開通し、伊達市内に4つのインターチェンジができました。伊達市を取り巻く物流ネットワークが向上する中、伊達中央 IC から1kmの立地に10.4haの新工業団地を造成しました。2023年度から順次、立地企業が操業を開始します。

Development of a new industrial park

In 2021, the Tohoku-Chuo Expressway (Soma-Fukushima Road) connecting Fukushima City and Soma City opened fully to traffic, and four interchanges were built in Date City. Amid improvements to the logistics network surrounding Date City, a new 10.4-hectare industrial park was developed one kilometer from the Date-Chuo Interchange. Companies located in the park will gradually begin operating in fiscal 2023.



イオンモールがオープン

2024年以降、伊達桑折 IC の近くにイオンモールの開業が予定されています。東北屈指の売り場面積を誇る施設に、年間1,500万人をこえる人の流れができることで、県北地域全体の活性化が期待されます。

AEON Mall to open

AEON Mall is scheduled to open near the Date-Kori Interchange sometime after 2024. The facility, which is one of the largest retail spaces in the Tohoku region, is expected to draw more than 15 million people to the area annually, thereby boosting the entire northern part of the prefecture.



伝統の味を守る老舗菓子店



まちの駅やながわ

便利で快適に暮らせるまち

伊達で暮らす

市内には屋内こども遊び場や森林公園、図書館、美術館などの施設が整備されていて、市民が気持ちよく暮らせるように、育児、教育、健康増進、福祉、防災などあらゆる分野で積極的な取り組みを進めています。また、これからの時代に不可欠なデジタル化を進めることにより、市民サービスの向上に取り組んでいます。さらに、おいしい水の安定供給や下水道施設の適正管理など、生活基盤となるインフラを守りながら、市道の整備や長寿命化、地域公共交通の見直しなどを通して、さらに快適な住環境の整備に取り組んでいます。

Living in Date

Date City has established a number of facilities, including indoor playgrounds, forest parks, libraries, and museums, and is actively engaged in all areas of childcare, education, health promotion, welfare, and disaster prevention to ensure that residents are able to lead pleasant lives. The city is also working to improve resident services by promoting digitalization, which will be essential in the years ahead. Furthermore, the city is working to further enhance the comfort of the living environment by maintaining and extending the lifetime of city roads and reassessing local public transportation, while protecting the infrastructure that underlies our daily lives, such as ensuring a stable supply of delicious water and proper management of sewerage facilities.



安心でおいしい水の提供



阿武隈急行線



東北中央自動車道

首都圏からのアクセスも良好・便利な田舎

伊達市から東京までは、東北新幹線などの鉄道を利用して約2時間、自動車利用では、東北自動車道経由で約4時間と、首都圏へのアクセスがよい場所です。東北の中心都市である宮城県仙台市までは、東北新幹線で約40分、東北自動車道を利用して約1時間です。東北中央自動車道が2021年に全線開通し、周辺からのアクセスがさらに向上しました。

伊達市は
ほどよい街です!!

一般社団法人 tenten
にしむら さおり
西村 沙織さん



伊達に移住・定住



移住に関心のある人に向けて、伊達市を「知る」から「暮らす」まで一貫したサポートに取り組んでいます。移住コンシェルジュによる移住相談の受け付けや、保育・福祉職向け移住支援事業などにより、仕事や住まい、子育てに関する支援を行っています。

阿武隈急行高子駅の北側（保原町高子岡）に、全世代・全員活躍のコミュニティによる世代循環型のまちづくり（CCAC 構想）を進めています。自然豊かな高子地域の資源を活用し、農業・福祉・健康を基軸とした多世代交流を進め、人・もの・産業をつなぐことで、新しい価値を育み、だれもが自分らしく暮らせるまちを目指しています。

Moving to and settling in Date

For those interested in moving to Date City, the city provides one-stop support encompassing everything from getting to know Date to actually living in the city. Support is provided for work, housing, and childcare through measures such as a consultation service offered by the "Relocation Concierge" and the relocation support program for childcare and welfare workers.

On the north side of Takako Station on the Abukuma Express Line (Takakogaoka, Hobara-machi), the city is working to create a Continuing Care All generations Community (CCAC) in which all members from all generations play an active role in the community. By utilizing the rich natural resources of the Takako area, promoting multi-generational exchanges revolving around agriculture, welfare, and health, and connecting people, products, and industries, the city aims to create a community that fosters new values and allows everyone to live in a manner true to themselves.



移住相談会 首都圏で開催する相談会では、移住コンシェルジュが相談をお受けします。



移住者交流会 年に数回、交流と市を知ってもらう取り組みとして開催しています。

主な暮らしのサポート

- 仕事** 就農支援
農業後継者育成支援
起業支援
就労支援
- 住まい** 住宅取得支援事業
伊達市空き家バンク
空き家改修補助
- 子育て** 伊達市版ネウボラ、
子育て応援出産祝い金
屋内こども遊び場

移住・定住の案内が
ご覧いただけます。→



伊達市移住促進ポータルサイトで「伊達市で暮らす」がまるわかり！



伊達市の紹介はもちろん、子育て支援事業や就労支援などの伊達市の取組や実際に移住した方のインタビュー記事も掲載しています。

◇◇ 伊達に移り住んでみて ◇◇

居心地が良い街

くめ さとみ
久米 里美さん



埼玉県出身の久米さん。学生時代に伊達市内の児童クラブでのボランティアで訪れたのが移住のきっかけです。「もともと地方の暮らしに憧れがあり、思い切って初めての勤務先を伊達市に決めました。始めは不安もありましたが、市外から来た私を周りの人たちがとても優しく温かく受け入れてくれて、現在は仕事もプライベートも楽しくやっています。

伊達市は公共交通機関も整い病院やスーパーなども近くにある、田舎すぎず住みやすいまちです。現在は子どもたちに囲まれながら、昔からの夢だった保育の仕事をしています。休日には近くの図書館で子どもたちのために絵本を探すのが好きです。」と笑顔で話してくれました。



新規就農者にやさしい街

なつきか しょうた
夏坂 翔太さん



伊達地域に移住されて新たに農業を始められた夏坂さん。移住のきっかけは、元々農業をたくて知り合いを通じて伊達市を紹介してもらったこと。「伊達市は気候も良く、農業をするには最適です。生活には困らないぐらいのインフラなども整っており、田舎すぎずとても住みやすいところです。私は農業の経験は全くないところからのスタートでしたが、地域の皆さんが自分たちの技術を惜しみなく教えてくれて、ほんとに助かっています。新規就農者には本当にやさしいまちです、移住するなら伊達市です。」と話してくれました。



みんなでつくる協働のまち



掛田自治振興会と東京芸術大学の交流で、市外の若者が伝統の霊山太鼓を学ぶ

協働で魅力あるまち

多様な地域コミュニティが一体となって地域課題の解決や地域振興に取り組む「地域自治組織」の組織化が進み、市内 28 の地域自治組織が、それぞれの特徴を生かした地域づくりに取り組んでいます。あたたかく人情味のある市民性を活かし、市民や市民活動団体、民間企業など多くの主体の知恵と力を結集したまちづくりを進めています。

A charming city built on collaboration

Local self-governing organizations, in which diverse local communities work together to solve local issues and promote regional development, are growing in number. There are 28 local self-governing organizations in the city, each of which engages in community development according to its own unique characteristics. Leveraging this citizen engagement with a warm, human touch, the city promotes community development by bringing together the knowledge and capabilities of many entities, including residents, civic groups, and private companies.



松の山から桜の山へ

かつては赤松の雑木林だった伊達市保原町の紅屋峠。桜の名所を作ろうと地元の有志が立ち上がり、「紅屋峠千本桜の会」を立ち上げ、毎年桜を植え続けています。今では伊達市一番の桜スポットに成長し、遠方からも来客が訪れる人気の観光地になりました。

掛田自治振興会
おおも やすこ
大友 靖子さん



富成芸術祭・ばんかた市

保原町富成地区では、富成地域まちづくり振興会が中心となり、「富成芸術祭」を開催しています。地域の人たちが身近に楽しめる機会を作ろうと始まったもので、地域内外から反響を呼んでいます。また、地域の農産物などを販売する「富成ばんかた市」を月に1回開催しています。来場者が喜ぶ姿は生産者の喜びにつながっています。

Tominari Art Festival and Bankata Market

The Tominari Art Festival, organized mainly by the Tominari Community Development Promotion Association, is held in the Tominari district of Hobara-machi. The festival was launched to create an opportunity for local residents to enjoy art close to home, and has been met with a positive response both inside and outside of the community. In addition, the Tominari Bankata Market, at which producers sell local agricultural products and other goods, is held once a month. Seeing visitors' delight is a source of joy for the producers.



富成ばんかた市



富成芸術祭

元気な伊達市楽しい伊達市

かつて学校長や教育長を務めた湯田さんは、富成地区はひとつの学校で、地域の皆さんは生徒だと言います。「富成地区では『富成芸術祭』や『富成ばんかた市』など様々な活動を地域の皆さんと繰り広げています。『富成芸術祭』は地域の皆さんはもちろん、地域外からもお客様がいらっしゃる盛況ぶり、昨年は 250 人のお客様にご来場いただきました。『富成ばんかた市』は地域の野菜や花などを中心に月に一度開催され、こちらも地域の皆さまから喜ばれています。これからも元気な富成から伊達市を盛り上げていきたいです。」とこやかに語ってくれました。



富成地域まちづくり振興会
ゆだ けんいち
会長 湯田 健一さん



地域ごとの「マルシェ」

地域のにぎわいを創出するため、市内各地でさまざまな団体が「マルシェ」などに取り組んでいます。地場産品の販売を通して交流が生まれ、地域の活性化につながっています。



伊達町マルシェ

地域の方たちがほっこりできるまちづくり

楽しく住んでよかったと思えるようなまちづくりがしたいと語る山田さん。「まちづくり伊達は、月に一度の商店街をあげての「感謝市」や「うまいものフェア」「伊達町マルシェ」などイベントを中心とした活動を行っています。「伊達町マルシェ」では新鮮な野菜販売や手作り雑貨販売なども行っています。伊達地域では今人口が増加しています。新しく移り住まれる皆さんと元々お住まいの皆さん、お年寄りから子どもまで気軽に集える憩いの場所づくりをしていきたいです。」と話してくれました。

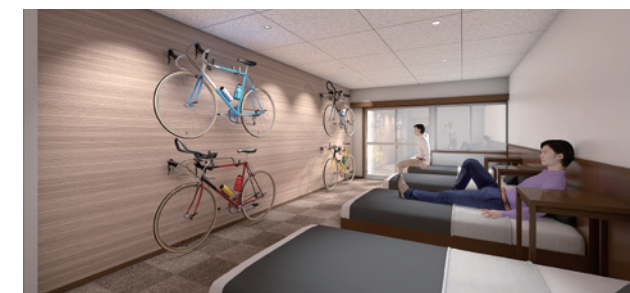


まちづくり伊達
やまだ あい
代表理事 山田 愛さん



学校からあらゆる施設へ

小学校の統合などで空いた校舎を、交流施設や福祉施設として有効に利用しています。伊達市月舘町の旧小手小学校の校舎は、中山間地帯で坂が多い特性を生かし、サイクリストが泊まれる宿泊施設「おての里きてみ〜な」に生まれ変わります。地域の人と来訪者との交流が期待されています。



市民による魅力発信

まちの魅力発信の担い手として「伊達な宣伝部長」「だてフォト部」を市民から募っています。宣伝部長は、自分の仕事や活動を通して情報を発信し、フォト部員はお店やイベント、自然などの写真を撮影し、SNS で発信しています。



伊達市面積

Land area of Date City

265.1 km²

福島県の北部に位置し、県庁がある福島市の北東に隣接しています。東に阿武隈山系の霊山、西には吾妻連峰、北方には宮城県境の山々が遠望できる福島盆地の中にあります。

Date City is situated in northern Fukushima Prefecture and lies northeast of Fukushima City, home to the prefectural government. Its location in the Fukushima Basin offers distant views of Mt. Ryozen (part of the Abukuma Mountains) to the east, the Azuma mountain range to the west, and the mountains along the border of Miyagi Prefecture to the north.

世帯数

Number of households

23,043世帯

※令和5年3月1日現在

世帯数は減少傾向にありますが、伊達地域では増加しています。

The number of households is decreasing overall, but increasing in the Date area.

屋内こども遊び場 4施設

Indoor playground facilities in the city

天気を気にすることなく、砂場や三輪車、県内最大級のコンビネーション遊具で、のびのびと遊ぶことができます。

Children can have fun in sandboxes, ride tricycles, and play with some of the largest playground equipment in Fukushima Prefecture without worrying about the weather.

認定こども園 7施設

Number of *kodomoen* (certified children center) facilities

こども園が市内各地に7つあり、市民の子育てをサポートします。

There are seven *kodomoen* located throughout Date City that support residents in caring for their children.

数字で見る伊達市

Date City in Numbers

うつくしま百名山

霊山

Mt. Ryozen

One of the 100 Famous Mountains in Fukushima

標高

Elevation

825m

市のシンボルでもあり、東北の秀峰として名高い霊山。登山家の岩崎元朗さんが、新日本百名山の一座に選定するなど、低山ながら高い評価も得ています。

Mt. Ryozen is a symbol of Date City as well as a well-known example of the Tohoku region's most magnificent mountains. Although low in elevation, it is held in high esteem. Alpinist Motoo Iwasaki has selected it as one of the New 100 Famous Mountains of Japan.



伊達市役所の位置は

The Date City Hall is located

海拔50m

above sea level

工業団地の数

Number of industrial parks

伊達市には工業団地が7カ所あります。現在分譲中の新工業団地はICまでわずか1kmと好立地です。

There are seven industrial parks in Date City. The new industrial park currently offering lots for sale is conveniently located just one kilometer from the interchange.

柿生産者数

Number of persimmon growers

735人

2020年

くだもの王国である福島県の中で伊達市の柿の収穫量は5990tで1位、全国では9位となります。あんぽ柿の発祥の地だけに、柿の経営体数も県の中で1位となります。

Date City ranks first in Fukushima Prefecture, known as the "Fruit Kingdom" of Japan, and ninth in the nation for the size of its persimmon harvest, with 5,990 metric tons harvested annually. As the birthplace of *anpogaki* (semi-dried persimmons), the city also ranks first in Fukushima Prefecture for its number of persimmon farms.

道の駅りょうぜん年間入込者数

Number of annual visitors to Michi-no-Eki Ryozen

1,309,990人

2018年に「農村と山間に浮かぶ宿場ビストロ」をテーマにオープンした道の駅。年間130万を超える人々が訪れます。

This Michi-no-Eki (roadside station) opened in 2018 with the theme of "a bistro/inn floating between the countryside and the mountains." Over 1.3 million people visit it annually.

平均気温

Average temperature

Summer 夏 **25.5℃**
Winter 冬 **0.6℃**

2022年

2022年の伊達市の平均気温は13.3度。7月の平均気温は25.5度、1月は0.6度です。ちなみに最高気温は38.4度、最低気温は-11.5度となっています。

The average temperature in Date City in 2022 was 13.3°C. The average temperature was 25.5°C in July and 0.6°C in January. For reference, the highest temperature was 38.4°C and the lowest temperature was -11.5°C.

▲ 出典「気象庁ホームページ過去の気象データ」▼

年間降水量

Annual rainfall

835.5mm

伊達市の2022年の年間降水量は835.5mmでした。最近10年間(2013~2022)の平均は1007mm前後となります。

The annual rainfall in Date City in 2022 was 835.5 mm. In the past ten years (2013~2022), the average rainfall has been around 1,007 mm.

2020年

夏秋きゅうり収穫量

Summer-autumn cucumber harvest

6,050t

きゅうりは露地栽培とハウス栽培を組み合わせ、4月から11月までの長期間、出荷されています。

Cucumbers are cultivated in both open fields and greenhouses and shipped out over a large part of the year, from April to November.

出典「令和2年産作況調査」

養鶏

Poultry farming

鶏卵 Laying hens

16,393 百羽

ブロイラー Broilers

6,895 百羽

ブランド地鶏の『伊達鶏』はじめ、ブロイラーや鶏卵のための養鶏もさかんです。

Date City is also active in poultry farming of laying hens and broiler chickens, including Datedori, a brand of local chicken.

出典「2020年農産業センサス」

人と緑と歴史が結び合う ひかり輝く田園空間・伊達市

多くの若者が住み、子どもの声が響き、市民一人ひとりが健康で生きがいに満ちた人生を送っていることを実感できる、自然と都市が調和する美しい田園風景に包まれた未来に輝く伊達市をつくっていくという思いを込めて定めました。なお、伊達市のブランドメッセージ「#幸せがじゅずつなぎになるまち 伊達」にも通じる、伊達市の人や資源が結び合う（じゅずのようにつながる）という想いも盛り込みました。

伊達市第3次総合計画（計画期間：令和5年度～令和14年度）

まちづくりの基本姿勢

①『若者の定着と還流』を促す

安全性や快適性、利便性、美しさをはじめ、市の環境の総合的なレベルアップを図り、若者が定着するまちづくり、一度離れてもまた戻って来るまちづくりを進めます。

②『緑と歴史文化』とともに生きる

豊かな自然と特色ある農業、歴史文化を大切に守り、活かし、そしてこれらとともに生きるまちづくりを進めます。

③『未来を拓く子ども』を大切にする

妊娠・出産・子育て・教育に至る切れ目のない支援を一層積極的に推進し、未来を拓く子どもを守り・育むまちづくりを進めます。

④『すべての人の健幸』を築く

子どもから高齢者まですべての人が、健康で生きがいをもち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるまちづくりを進めます。

⑤『人と人のつながり』を大切にする

市民同士のつながり、市民・市民活動団体・民間企業などと行政とのつながりを一層強め、多くの人々が力を合わせ、支え合い助け合い、ともに働くまちづくりを進めます。

活 発 な 都 市 間 交 流

姉妹都市

松前町（北海道）

松前町との関わりは、さかのぼること約200年、江戸幕府が梁川を松前藩の領地としたことから始まります。その縁で1984年、松前町と旧梁川町は、姉妹都市になりました。伊達市もその歴史を引継ぎ、2011年に姉妹都市になりました。



松前城

友好交流都市

草津市（滋賀県）

東日本大震災後、草津市内で行われた復興イベントに伊達市が招かれたことがきっかけで交流が始まり、2014年に友好交流協定を結びました。

南牧村（長野県）

東日本大震災による原発事故以降、放射能を気にせず、子どもたちが安心してのびのびと過ごせる場を提供していただいたことが縁で交流が始まり、2017年に友好交流協定を結びました。

白井市（千葉県）

1989年から旧白井町と旧月舘町で両町の子どもたちによる相互交流が開始されたことが縁で交流が始まり、これまでに多くの市民が交流を重ねてきたことから、2017年に友好交流協定を結びました。

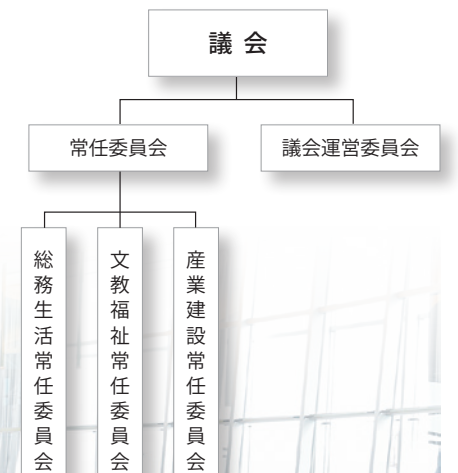
国際姉妹都市

リヴィア市（アメリカ合衆国）

リヴィア市と旧月舘町は、1994年から中高生の派遣と受入れを隔年で行う相互派遣交流を実施して交流を深めてきました。東日本大震災による原発事故の影響で一時的に中断したものの20年以上交流を続けてきたことから、2016年に姉妹都市になりました。

伊 達 市 議 会

市民に選ばれた議員が条例の制定や改廃、予算審議などを行っています。会期を通年とする通年議会を導入し、定例会議は、3、6、9、12月に開催。12月の定例会議は「ニット議会」と呼ばれ、地元で作られたニットを着用して審議に臨みます。



伊 達 な ふ る さ と 大 使

当市に縁があり、市内外に向けて発信力のある方に「伊達なふるさと大使」を委嘱し、伊達市の歴史、質の高い農産物や自然などの魅力をPRしていただいております。

サンドウィッチマン
伊達 みきおさん
富澤 たけしさん

宮城県仙台市出身。高校時代の同級生で1998年に結成。2007年M-1グランプリ王者。伊達みきおさんのご先祖が伊達氏9代政宗の弟（大條城主 大條宗行）であり、伊達市とゆかりがある。また、市内には富沢という地名がある。

高島 英也さん



伊達市保原町出身。1982年にサッポロビール㈱に入社。2017年1月からサッポロビール㈱代表取締役社長に就任。2021年3月から2023年3月までサッポロホールディングス㈱の顧問を務めた。

長沢 裕さん



伊達市保原町出身。タレントとしてテレビやラジオなどで活躍し、日本テレビ系朝の情報番組「ZIP!」6代目お天気キャスターに抜擢。KFB福島放送「シェア」、BS-TBS「釣り百景」に出演。

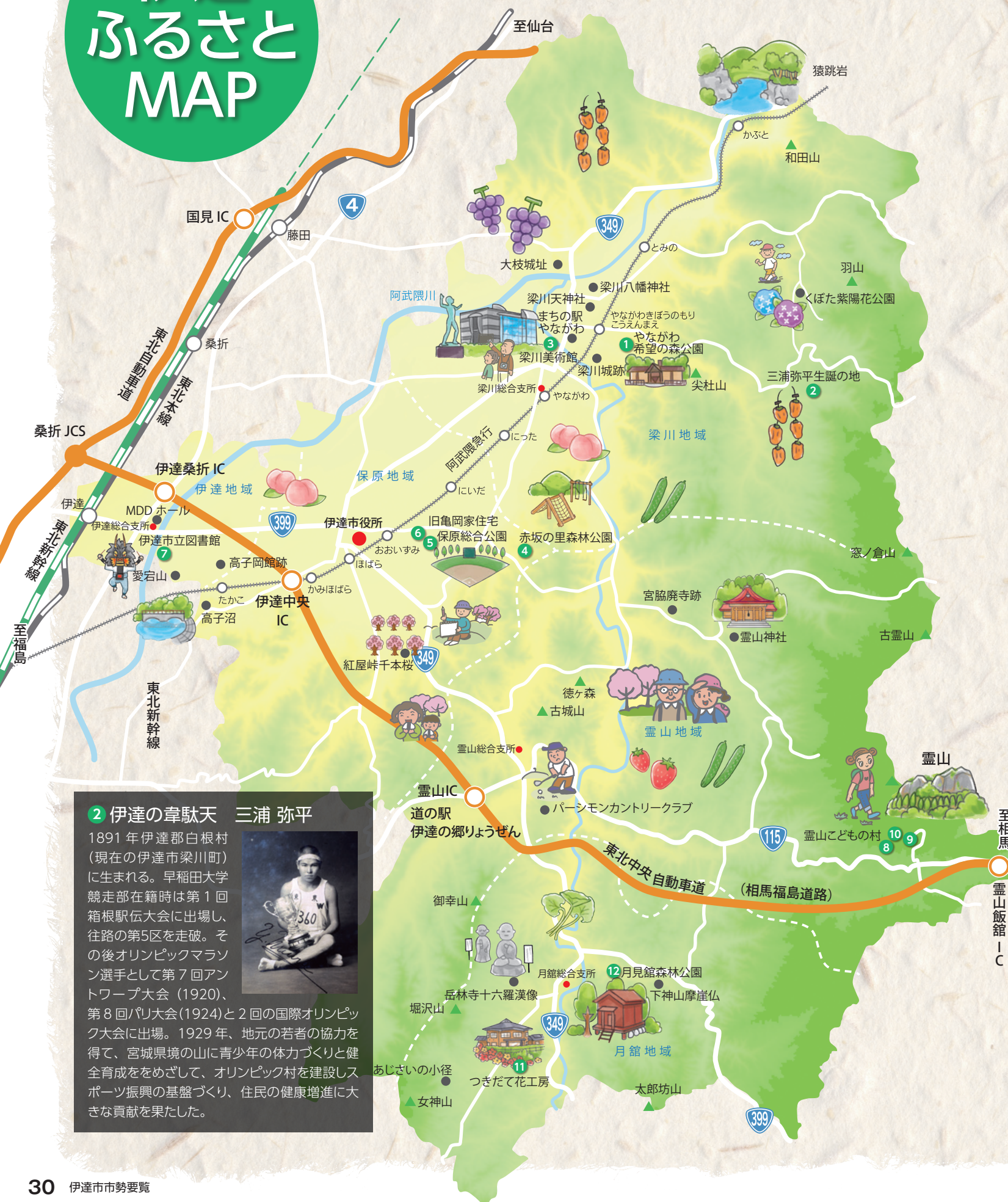
小林 アリスさん



伊達市霊山町出身。女優・モデルとしてテレビやCMなどで活躍。2017年ミス・ユニバース・ジャパン福島大会グランプリ、日本大会特別賞を受賞。KFB福島放送「シェア」などに出演。

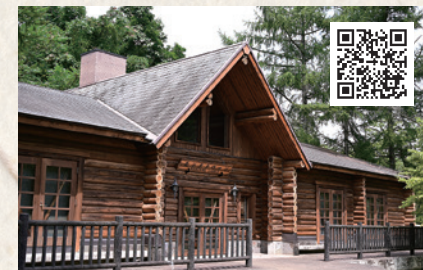
伊達 ふるさと MAP

歴史と伝統が息づくまち、伊達市。
何度でも訪れたくなる場所がたくさんあります。



2 伊達の韋駄天 三浦 弥平

1891年伊達郡白根村（現在の伊達市梁川町）に生まれる。早稲田大学競走部在籍時は第1回箱根駅伝大会に出場し、往路の第5区を走破。その後オリンピックマラソン選手として第7回アントワープ大会（1920）、第8回パリ大会（1924）と2回の国際オリンピック大会に出場。1929年、地元の若者の協力を得て、宮城県境の山に青少年の体力づくりと健全育成ををめざして、オリンピック村を建設しスポーツ振興の基盤づくり、住民の健康増進に大きな貢献を果たした。



1 やながわ希望の森公園

春は咲き競う2,000本の桜の下でのお花見、夏はあふれる緑の中でのキャンプ、秋は紅葉を愛でながらの芋煮会、そして静かな冬のバードウォッチング。四季折々の自然の中で、子どもからお年寄りまで家族みんなで楽しめるアウトドアレジャーの施設です。



3 伊達市梁川美術館

2006年1月1日の5町合併に伴い、伊達市梁川美術館と名称を変更し現在に至ります。「地域に根差した美術館」をテーマに、市の芸術文化振興を目指した取り組みを続けています。年数回の企画展のほか、梁川地域出身の彫刻家太田良平氏の作品が常設展示されています。



4 赤坂の里森林公園

自然を満喫できる園内には、チビッコグレンデやフィールドアスレチックなどがあり、子どもたちのにぎやかな声が響きわたります。また、展望台からの信達平野の眺めはバツグンです。



5 保原総合公園

伊達市の中心部に位置し、フットボール場やパークゴルフ場・野球場・サッカー場・テニスコートなどの運動施設のほか、幼児から小学生までが楽しめる遊具や、国指定重要文化財「旧亀岡家住宅」などを有する、総合的なレクリエーション施設です。



6 伊達市保原歴史文化資料館

歴史文化資料館では、伊達市の歴史文化資料の収集・整理・保存・展示や郷土史調査を行っています。また、明治の擬洋風建築「旧亀岡家住宅」（国指定重要文化財）を併設、公開しています。



7 伊達市立図書館

紙の図書と電子図書を合わせて約18万冊の蔵書があります。図書の貸し出しは伊達市民のほか近隣市町村在住の人などに限られますが、館内での読書はどなたでも大歓迎。阿武隈川のほとりにあり、屋上からは市内が一望できます。



8 霊山こどもの村

福島県立自然公園「霊山」の南麓に位置し、自然をそのまま生かした環境の中にある施設です。屋内施設「遊びと学びのミュージアム」は、日本で初めての本格的な参加型のチルドレンズミュージアムとして、1994年にオープンしました。



9 りょうぜん紅彩館

名峰・霊山の麓にたたずむ山小屋風の建物です。周囲は自然に囲まれ、四季折々にさまざまな表情を見せてくれます。特に秋の紅葉はおすすめです。宿泊・日帰り入浴ができます。もちろんレストランでのお食事のみのご利用も可能です。



10 こどもの村キャンプ場

オートキャンプ場にはシャワー棟が完備しており、AC電源付きサイトもあります。また、木のぬくもりが伝わるコテージは、心地よい空間を満喫できます。



11 つきだて花工房

窓からは、表情豊かな山並みと青空を存分に満喫できます。宿泊のほか、日帰り入浴、休憩、会食、ランチ、各種田舎体験などが楽しめます。ツツジ、ポピー、ラベンダーなど、季節ごとに咲く花を愛でながらの自然散策がおすすめです。



12 月見館森林公園

自然をまるごと楽しめる園内にあるバンガローは、ベッド、水洗トイレ、シャワーを備えた人気施設です。また、アスレチック遊具や、親水公園「布川せせらぎの里」などもあり、シーズン中は元気に楽しむ子どもたちでにぎわいます。

